



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月6日

上場会社名 高千穂交易株式会社
 コード番号 2676 URL <http://www.takachiho-kk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井出 尊信
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理・業務担当 (氏名) 植松 昌澄
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 2020年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3355-1111

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	9,273	8.8	218	42.6	177	59.7	60	79.6
2020年3月期第2四半期	10,173	11.6	381	32.6	439	25.6	298	57.5

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 93百万円 (70.6%) 2020年3月期第2四半期 319百万円 (24.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	6.85	
2020年3月期第2四半期	33.54	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	18,032	13,570	75.2	1,522.82
2020年3月期	18,556	13,584	73.2	1,524.28

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 13,561百万円 2020年3月期 13,574百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		12.00		12.00	24.00
2021年3月期		12.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、安定配当額(年間24円)を下限として、連結配当性向40%以上とすることを配当方針としております。この方針に従い、現時点で配当額は未定ですが、2021年3月期配当については、第2四半期末の配当金を12円、期末配当金は年間配当額を連結配当性向40%以上にて実施する予定としております。よって、期末配当金および年間配当金の記載を「-」と表記しております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,100	2.5	750	4.8	700	20.9	390	104.6	43.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に算出することが困難なことから公表を見送ってまいりましたが、当第2四半期連結累計期間の業績動向等を踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づき業績予想を算定いたしました。詳細につきましては、本日(2020年11月6日)公表いたしました「通期業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	10,171,800 株	2020年3月期	10,171,800 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,266,078 株	2020年3月期	1,266,058 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	8,905,742 株	2020年3月期2Q	8,905,759 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(1)当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(四半期連結損益計算書関係)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
販売実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にありますが、持ち直しの動きがみられます。先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されます。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

当社グループの市場環境は引き続き競争激化の状況にありますが、新たな成長を見据え付加価値による競争力強化と収益力向上及びグローバルビジネス拡大や新規ビジネスによる収益基盤の創出を図っております。

具体的には、システムセグメントでは、主要商品である商品監視システムや入退室管理システムの付加価値強化、クラウド型無線LANやテレワークに関連したリモートアクセス商品の販売強化、RFIDシステム、省人化システムなどのリテールソリューション等の新たな市場開拓、またタイ及びASEAN諸国において展開する高度防火システム事業の拡大を図っております。

他方、デバイスセグメントでは、電子事業においては主に通信インフラ市場やオートモティブ市場への拡販、また産機事業では従来のATM向け機構部品に加え、北米、ASEAN諸国、中国への住宅設備向け機構部品の販売、国内外における自動車内装部品市場の開拓などに注力しております。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、国内外の小売業や製造業及び建設業など、当社が注力する市場の減退に加え、移動制限に伴って営業活動に支障が出ている状況となっており、前年同期比8.8%減の92億73百万円に留まりました。

損益につきましては、上記理由により、営業利益は前年同期比42.6%減の218百万円、経常利益は前年同期比59.7%減の177百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比79.6%減の60百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(システムセグメント)

システムセグメントの売上高は、前年同期比15.5%減の53億14百万円、営業利益は前年同期比71.7%減の65百万円となりました。

リテールソリューション商品類では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う小売業休業、新規出店抑制などの影響を受けて商品監視システムの販売が減少した一方で、CCTV、顔認証システムなどの販売によりその減少を補うことができ、売上高は前年同期比1.0%増の17億83百万円となりました。

オフィスソリューション商品類は、テレワーク需要の高まりによりリモートアクセス商品の販売が好調に推移したものの入退室管理システムの販売が減少したことなどにより、売上高は前年同期比20.8%減の14億70百万円となりました。

グローバル商品類は、タイの高度防火システムの売上が原油価格の低迷や新型コロナウイルス感染症の影響で新規プラント建設が停滞したことなどから減速し、売上高は前年同期比33.1%減の11億30百万円となりました。

サービス&サポート商品類は、売上高は前年同期比4.8%減の9億30百万円となりました。

(デバイスセグメント)

デバイスセグメントの売上高は、前年同期比1.9%増の39億59百万円、営業利益は前年同期比2.4%増の1億53百万円となりました。

電子商品類では、テレワーク需要の高まりにより通信機器やパソコン向け電子部品の販売が好調に推移したことなどから、売上高は前年同期比12.6%増の20億83百万円となりました。

産機商品類では、複写機やオフィスファニチャー市場への機構部品の販売が減速したことなどにより、売上高は前年同期比7.8%減の18億75百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ5億23百万円減少し、180億32百万円となりました。これは固定資産が3億88百万円、商品及び製品が3億70百万円増加した一方で、現金及び預金が9億51百万円、受取手形及び売掛金が5億37百万円減少したことなどによるものです。

他方、負債は、前連結会計年度末と比べ5億9百万円減少し、44億61百万円となりました。これは未払法人税等が2億30百万円、支払手形及び買掛金が1億80百万円減少したことなどによるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ13百万円減少し、135億70百万円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末から2.0ポイント上昇し、75.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響について合理的に算定することが困難であったため未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報及び予想に基づき算定いたしました。

詳細につきましては、本日(2020年11月6日)公表いたしました「通期業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,199	5,248
受取手形及び売掛金	6,720	6,182
商品及び製品	2,597	2,968
原材料	108	144
その他	732	902
貸倒引当金	△122	△121
流動資産合計	16,236	15,323
固定資産		
有形固定資産	299	606
無形固定資産	147	257
投資その他の資産		
投資有価証券	925	1,215
その他	947	629
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,872	1,844
固定資産合計	2,319	2,708
資産合計	18,556	18,032

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,591	2,411
未払法人税等	241	11
賞与引当金	235	203
役員賞与引当金	1	-
本社移転費用引当金	82	-
その他	1,021	1,031
流動負債合計	4,174	3,657
固定負債		
長期未払金	35	48
退職給付に係る負債	729	720
その他	31	34
固定負債合計	797	804
負債合計	4,971	4,461
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,209	1,209
資本剰余金	1,172	1,172
利益剰余金	12,388	12,342
自己株式	△1,231	△1,231
株主資本合計	13,537	13,492
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	204	234
為替換算調整勘定	△165	△165
退職給付に係る調整累計額	△2	0
その他の包括利益累計額合計	36	69
新株予約権	9	8
非支配株主持分	0	0
純資産合計	13,584	13,570
負債純資産合計	18,556	18,032

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	10,173	9,273
売上原価	7,666	7,076
売上総利益	2,507	2,197
販売費及び一般管理費	2,125	1,978
営業利益	381	218
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	13	9
為替差益	19	-
受取保険金	18	5
助成金収入	-	3
持分法による投資利益	1	-
その他	6	4
営業外収益合計	59	24
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	-	1
支払手数料	0	0
投資事業組合運用損	-	51
為替差損	-	11
その他	0	0
営業外費用合計	1	65
経常利益	439	177
特別利益		
投資有価証券売却益	67	-
新株予約権戻入益	0	4
特別利益合計	67	4
特別損失		
減損損失	※ 10	-
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	10	0
税金等調整前四半期純利益	497	181
法人税、住民税及び事業税	195	64
法人税等調整額	3	55
法人税等合計	198	120
四半期純利益	298	60
親会社株主に帰属する四半期純利益	298	60

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	298	60
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	30
為替換算調整勘定	22	△0
退職給付に係る調整額	3	3
その他の包括利益合計	20	32
四半期包括利益	319	93
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	319	93

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項に変更はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

2020年7月1日付で、当社の連結子会社であった高千穂コムテック株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当第2四半期連結会計期間より連結範囲から除外しております。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 減損損失

前第2四半期連結累計期間において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

場所	用途	種類
群馬県吾妻郡嬭恋村 他5件	遊休資産	土地

当社グループは、原則として、事業用資産については事業の種類を基準としてグルーピングを行っており、遊休資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

前第2四半期連結累計期間において、事業の用に供していない遊休資産のうち、回収可能価額が帳簿価額を著しく下回っている資産グループについては、減損損失を10百万円計上しております。遊休資産の内訳は全て土地であります。

なお、遊休資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、不動産鑑定評価額を基礎とし、固定資産評価額を用いて合理的な調整を行い、算出しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システム	デバイス	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	6,287	3,885	10,173	—	10,173
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,287	3,885	10,173	—	10,173
セグメント利益	231	149	381	—	381

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休資産に区分される土地の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、前第2四半期連結累計期間においては10百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システム	デバイス	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	5,314	3,959	9,273	—	9,273
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,314	3,959	9,273	—	9,273
セグメント利益	65	153	218	—	218

3. 補足情報

販売実績

(単位：百万円)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
リテールソリューション商品類	1,766	1,783
オフィスソリューション商品類	1,855	1,470
グローバル商品類	1,689	1,130
サービス&サポート商品類	976	930
システム 計	6,287	5,314
電子商品類	1,850	2,083
産機商品類	2,035	1,875
デバイス 計	3,885	3,959
計	10,173	9,273